

令和元年度第二回クラス懇談会 意見まとめ

※回答は、懇談会当日にいただいた意見を整理したものです。5件以上挙げた意見には◎、2件以上のものには○をつけています。

1. 学生期間中の海外への渡航について

- 就活や部活などほかの活動との両立が難しい
- 留学希望に人には留学や費用や資金援助に関する情報を頻繁にメール等で流してほしい
- 留学関係の情報が少なすぎる。詳しい説明が不足しておりシステムが分かりにくい
- 留学はしたいが資金がない。援助が欲しい
- KOANの留学情報が分かりにくい
- 過去の先輩の事例をもっと知りたい
- 交換留学の枠が少ない（安価だが学力要求レベルが高い）
- 交換留学にGPAが必要となり楽単狙いが増える。評価基準を見直して公平にしてほしい
- 学部別の留学サポートやプログラム、留学情報がほしい
 - ・留学先の基本情報や阪大との関係が分からない（留学先での単位の扱いが不明瞭。卒業要件として認められると思っていたら留学後に要件外の単位だと判明したことも）。
 - ・情報発信の方法として、公式ラインやスラックのほうがアクセスしやすい
 - ・長期休暇中の留学の案内をもっとほしい
 - ・説明会が5、6限にあっても授業があり参加できない
 - ・留学時の奨学金や休学手続きの簡易化、一覧化などをしてほしい
 - ・気軽に立ち寄れて相談や情報を得られる場所がほしい
 - ・単位取得が不安
 - ・奨学金が交換留学以外でない。外部のものを紹介してほしい
 - ・工学部では留学に関する情報がまわってこない
 - ・看護は実習などで交換留学が難しい
 - ・外国語学部は5年がデフォルトと聞いてなかった。プログラムとして組み込んでほしい
 - ・所属学科としては十分に機会が与えられており満足している
 - ・国際交流科目をもっと増やしてほしい（留学の疑似体験ができる）
 - ・阪大に来ている留学生が留学システムに関わればたいていプログラムづくりにつながる
 - ・迎え入れている留学生との交流の場を設けてほしい、もっと強制力があってもいい
 - ・海外でのマナー等の注意事項をまとめてほしい
 - ・言語が通じないのはこわいため興味はあるが行きにくい
 - ・海外渡航のメリット（言語力の向上、様々な経験がつめる、楽しい）
 - ・学科的に実習が多いため留学に行く気になれない
 - ・1年生の最初は留学に行きたい人は多くなるが志が続く人は少ない

- ・理系は留学に行くタイミングが分からない
- ・海外へ行くのは休みの時に限られると思う
- ・大学生のうちにできるだけ様々な経験をしたいため長期間学校を離れることは不安
- ・留学について自分で調べるのは面倒

2. 授業外の学修支援とインターネット上の学修支援情報について

- TOEFLE 対策をもっと積極的にしてほしい
- レポートの書き方を指導してほしい（提出したレポートは採点して返してほしい）
- 特に支援をされていると感じないので、もっと支援に関する広報を（O+PUS（全学ディスプレイシステム）など）
 - ・英語の学習を充実させたい
 - ・英語外部テストを強制受験させるならそれに対応する紙のテキストが必要
 - ・英会話系は英語が苦手で行きにくいので e-learning 形式がいい
 - ・留学意識を高めるものがほしい
 - ・英語の授業の抽選がどうなっているのかわからない
 - ・文系はパソコンオフィスの使い方を知りたい
 - ・理系は文章の作り方を知りたい（学問の扉がいい）
 - ・プレゼンの仕方は企業の人に聞きたい
 - ・アナログ人間なのでネット上で何かされても見ないし活用できない
 - ・第二外国語学習者のサポートがほしい
 - ・授業外学習が大変なものそうでないもので同じ単位数なのがかわいそう
 - ・「学問への扉」がとてもよかった
 - ・基盤教養の分類がわかりやすい
 - ・実施主体がバラバラなので一括で確認したい。現在やっているものを分類しなおしてほしい

3. 英語の e-learning について

- ◎不具合が多い（システムが弱い、マイクが音を拾わない・1週間計画があるので1度エラーが起こると困る、スマホでの動作不良、通信が遅い）
- ◎難易度が低すぎる、単純作業になっている（always の意味を聞かれる）
- 量が多く負担が大きい
- 科目についての情報が伝わっていない、目的を明確化してほしい
- やり忘れしやすい
- 書き写しは無駄、リスニングのみでよい

- エラーが多すぎて本来の学習時間を逸脱し結果大きく意欲をそがれる
 - 意義を感じられない
 - 複数人で受けるなど不正が簡単にできてしまう
 - TOEFL 対策になっているか不明
 - e-learning は無駄、再履修用にするのがよいのではないか
 - 払ったお金の価値するクオリティではない
 - やりがいがない
 - 課題を終わらせることが目的となり英語が身についてない。ただ時間を消費している
 - 授業を行いテストの点で評価するほうがよい。インターネットを使うメリットがない
 - ・内容・難易度・質・評価が適切でない(→やる意味を見出せない学力がつくと思えない) 中身の無い学習・時間の無駄になっている
 - ・スピーキングに特化すべき
 - ・スピーキングの質に問題がある
 - ・スピーキング・リスニングは必要ない。それらは Face to face でやるべき
 - ・スピーキングはサイバーメディアセンターや図書館でできないので困る
 - ・スピーキングの発音の波形を合わせるセクションは意味があるのか
 - ・成績判定の詳細説明・公平性
 - ・不満の声多数。クラスの全員に何か不満はないか聞くと全員から e-learning との返事が。
- Twitter でも不満や不正(抜け道)が多い
- ・改行されていなくて長文が読みにくい
 - ・パソコンを開くのが面倒
 - ・受動的でない相互的な学習がしたい
 - ・廃止してほしい
 - ・e-learning のテストを受ける期間を延ばしてほしい
 - ・単語を覚えるパートがよい。全ての単語を対象にしたパートがあればなおよい
 - ・ディクテーションは力になる
 - ・レベル分けが適切か疑問。回数が違うだけ?
 - ・e-learning の始まった意図は?
 - ・英語専攻なので、既に週7コマの英語の授業を受けており、正直それで十分
 - ・e-learning か授業かどちらかを選べるようにしてほしい
 - ・何も口頭で説明(その課題の存在すら)せずに課題をやれとなるとトラブルの元
 - ・スマホでやるとスピーキングをとばせるがPCだととばせない
 - ・不正が多い。しかし大学は自分で勉強する場なのでそれでもよいのではないか。卒業後困るのは本人である。
 - ・毎週決まった時間帯に教室を設定して、授業形式で e-learning を実施させてほしい

4. そのほか

施設・設備

- トイレが汚い
- 新箕面キャンパスの交通が不便(無料駐輪場・駐車場、千里中央からバスを出してほしい)
- 洋式トイレを導入してほしい
- 再履バスの本数を増やしてほしい(1限は満員)
- Wi-Fiがすぐに切れる(豊中総合学館など)
- ゴミ箱の使い方が悪い(特に週明けがひどい、明道館や阪大坂のごみ)
- 吹田キャンパスが古い、汚い
 - ・パウダールーム、学生ラウンジをもっと増やしてほしい
 - ・更衣室棟のトイレのスリッパが壊れている
 - ・A棟1階のトイレでハンドソープが設置されているのに石鹸が出ない仕様になっている
 - ・機能していない自転車専用道、歩行者道の撤廃
 - ・グラウンド横の東口のスロープの自転車の防護柵がネック。夏場は虫が多く歩行者は通りたくない。また高低差が激しい
 - ・箕面新キャンパスの情報を学生へ
 - ・現在箕面キャンパスの寮に住んでいる人は新キャンパスの寮に優先的に入れてほしい
 - ・学生寮の拡充(吹田にも作ってほしい)
 - ・ロボット掃除機を導入すべき
 - ・掃除をさせてほしい
 - ・阪大坂のぼこぼこを早くなおしてほしい
 - ・阪大坂、なぜ阪大生だけ自転車バイクだめで一般人はいいのか
 - ・5限時間帯の共通棟のピロティがうるさいので静かにしてほしい
 - ・マルチリングカフェに一人で行きづらい。ハードルが高い印象がある
 - ・サイバーメディアセンターや実験室の開館を早くしてほしい
 - ・新しい外国語学部キャンパスに部室棟がない演奏室がない。練習する場所がない
 - ・豊中キャンパスのグラウンドを人工芝にしてほしい
 - ・アメフト部のクラブハウス設立を認めてほしい
 - ・授業間の移動時間10分は短い

食堂

- ◎食堂が混んでいる、工事延期により悪化している
- 日曜・祝日、お昼だけでもコンビニか学食をあけてほしい
- 食事ができる場所を増やしてほしい

- ・ 食堂のご飯の量の調節ができるようにしてほしい
- ・ ミールプランの料金設定の種類を増やしてほしい。100円単位で調節可能など
- ・ かさねが完成してもお弁当を続けてほしい
- ・ 食堂の混雑や列の整理に人を割いてほしい
- ・ 弁当を美味しくして欲しい、量を増やしてほしい
- ・ コンビニが少ない
- ・ カフェを設置してほしい
- ・ 自販機を刷新して、バリエーションを増やしてほしい
- ・ 実験棟4階の休憩室に自販機がほしい
- ・ ウォータークーラーがほしい
- ・ 箕面キャンパスの食堂を増やしてほしい

授業・履修

- ◎シラバスで授業内容や成績評価、参考文献が図書館にあるか等を明記してほしい
- 単位取得状況や2年以降、取得終了までのビジョンをネットで見られるようにしてほしい
- KOAN を使いやすくしてほしい（特に個別連絡の反応が遅い）
- CLE をもっと教員が活用してほしい（資料をすべて CLE に統一してほしい、実験の授業で初めに見せる説明動画などは先に CLE にあげてほしい）
 - ・ レポートを提出したが2～3週間採点されない。早くしてくれないと忘れてしまう
 - ・ 英語の授業（総英）のタスク量が授業によって異なるので一定にほしい
 - ・ 英語の授業は任意の時間に入れたい。火曜2限や金曜2限などとしばられたくない
 - ・ 授業中の私語を積極的に注意してほしい
 - ・ 他の学部の授業をもう少し取りやすくしてほしい（筑波大はとりやすい。参考にできそう）
 - ・ 基礎工学部で他学部履修のシステムを理解している事務や教授がおらず手続きに支障が生じている
 - ・ 授業中の入室禁止が困る。トイレで一時退室しても禁止。体育後は更衣をせず出席する。
 - ・ 単位を楽にとらせると評価が上がる現状に問題がある（1セメに授業を二回しか行わない科目がある？）
 - ・ 学問の扉、物理必修とする授業に文系の生徒を入れないでほしい。トータルではよかった
 - ・ 学問の扉を1年前期に限定せずいつでも何回でも色々なものをとれるようにしてほしい
 - ・ 実験の予習をしやすくしてほしい（留学生にやさしい日本語。授業でみる説明動画の共有）
 - ・ 実験（物理）のレポート採点をもっと早くしてほしい
 - ・ 留学生と一緒に受ける授業がない

その他

- ・企業との提携を増やしてほしい（特にパナソニック）
- ・奨学金の申請、デジタルと紙の両方があるが大変。デジタルにまとめるべき
- ・学部と院、他の学部の人とつながりたい。他のキャンパスの人とつながりたい
- ・色々な窓口があってどこに行けばいいのかわからない。具体例も記載してほしい